授業科目　公衆衛生看護学実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	看護
宇田　優子、小山　歌子、杉本　洋、	開講時期	前期	必修選択	必修
稲垣　千文、小林　房代、磯部　直子　他	単位数	1	時間数	45

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要】
地域の特性やそこで暮らす人々の日常生活や考え方の実際に触れ、地域看護診断方法を習得するとともに地域で暮らす人々を対象とした公衆衛生看護活動を理解する。

【学習目標・行動目標：SBO】
1．地区踏査から環境・社会資源や暮らしの実際等を把握できる。
2．地域で生活している人々と保健師学生として交流し、日常生活や健康に関する考えを聞くことができる。
3．既存の資料の学びから地域住民集団の健康課題と地域特性を関連付けて考えることができる。
4．地域看護診断方法の基本を習得する。
5．自己の課題を見出し、達成に向けて努力することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題備考・担当教員
	家庭訪問や、住民活動への参加を行う。	2	担当：宇田　優子　他
	地区踏査や人々との交流を通して得られた情報を、人々の日常生活や考え方と結び付けて考察する。	1	担当：宇田　優子　他
	既存資料を調べ、情報を得、実際に観察した内容と統合させ、地域の特性を考察する。	1～3	担当：宇田　優子　他
	実習地域の地域看護診断を行う。	4	担当：宇田　優子　他
	公衆衛生看護活動の役割と自己の課題について考察する。	5	担当：宇田　優子　他

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書（必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】
出席状況、実習態度、記録等を総合して評価する。

【履修上の留意点】